

旅行取扱状況の概観（平成28年2月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比73.7%と前年を下回った。学生団体は同103.1%と上回ったが、団体旅行合計で同80.0%と前年を下回った。企画旅行については前年比102.4%と前年を上回ったが、個人旅行については同88.1%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比92.5%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比99.8%とほぼ前年並みであったが、学生団体は同116.4%と前年を大きく上回った。その結果、団体旅行合計で同108.3%と前年を大きく上回った。企画旅行については前年比99.0%、個人旅行についても同99.2%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、101.1%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比124.4%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の2月の総取扱額は前年比99.1%となり、前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は前年にあった大型の招待旅行の影響や、テロ等の外的要因で取り扱い団体数が減少したことにより、前年比73.6%と前年を下回った。学生団体は海外研修等の取扱人数増加により、同103.1%と前年を上回ったが、海外団体旅行合計では同80.0%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体は前年にあった大型の企業系コンベンションの影響で、前年比99.6%とやや下回ったが、学生団体は修学旅行生の取扱人数の増加や、複数の大型研修旅行の扱いにより前年比116.4%と大きく上回った。

この結果、国内団体旅行合計で前年比108.2%と大きく上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比96.7%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、東北、北陸、南紀、中国四国は好調を維持しているものの、全般的に伸び悩んだ。

ホリデイは、テロ等の外的要因はあったものの、取扱額で前年比103.6%と前年を上回った。方面別取扱人数の状況では、ハワイ・アメリカ・アジア・オセアニア・台湾が前年を超えており、全方面合計で前年上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、パリで発生したテロの影響で引き続き海外旅行全体の販売が鈍化したことにより、取扱額で前年比99.8%と前年をやや下回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、流氷関連商品が流氷着岸の大幅遅れ等の影響はあったものの、東北・北陸方面がけん引し、前年比100.5%と前年を上回った。

バス旅行部門は、地方創生のふるさと割ツアーの追い風を大きく受けたものの、スキーバスの転落事故の影響を受け、取扱額で前年比98.5%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は、ひとり旅海外のオーロラ鑑賞や街道を巡る旅などのシリーズ商品や、限定感のある付加価値の高い寺旅や歴史をテーマとした旅が全体をけん引し前年比126.7%と前年を大きく上回った。